【小規模タイプ】 比較的、少ない部材を用いた小規模工事によるアンカー

軒下の母屋に金具を取り付け、ワイヤーを張る

破風に金具を取り付け

【低支柱タイプ】 支柱の低いアンカー

単管パイプを使用

小径パイプを使用

列状に単管パイプを配置

【その他の使い方をするアンカー】 上記以外の使い方や別機能との併用タイプ

支柱に直接命綱を固定する

雪庇防止フェンスを兼ねる

雪止めを兼ねる

命綱固定アンカーガイドブック第3版（令和４年３月）

新潟県土木部都市局建築住宅課
所在地：〒950-8570 新潟県新潟市中央区新光町4番地1
TEL：025-280-5442（直通）
FAX：025-285-6840
E-MAIL：ngt160030@pref.niigata.lg.jp
URL：http://www.pref.niigata.lg.jp/jutaku/

新潟県知事政策局地域政策課
TEL：025-280-5088（直通）
E-MAIL：ngt000200@pref.niigata.lg.jp

(協力) 魚沼市建築組合、越越後雪かき道場®
(監修) 長岡技術科学大学大学院教授 上村 靖司

安全な雪下ろしのために

屋根雪下ろし 命綱固定アンカーガイドブック（第三版）

新潟県

はじめに（命綱を知っていますか？）

豪雪地帯である新潟県では、毎年複数回の屋根雪下ろしが必要になる地域も多く、雪下ろしに起因する事故が多発しています。

県は、屋根雪下ろしが不要な克雪住宅の普及を進めていますが、屋根雪下ろしが必要な住宅をゼロにすることはできていません。

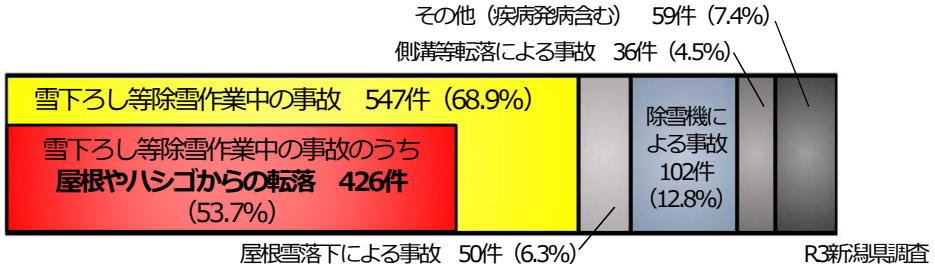
そのため、県は、屋根雪下ろしが必要な住宅等を管理・居住される方には、適切な安全対策を実践していただきたいと考えています。

本ガイドブックでは、命綱を適切に使用するために不可欠なアンカー（命綱を住宅に締結する設備）や、安全に屋根雪下ろしを行う方法などについて説明していますので、ぜひ参考にしてください。

屋根雪下ろし中の重大事故が多発しています

県内では、平成23年から令和２年の11年間に雪による死亡・重症事故が794件発生し、そのうち「雪下ろし等除雪作業中の事故」が547件（68.9%）と最も大きな割合を占めています。

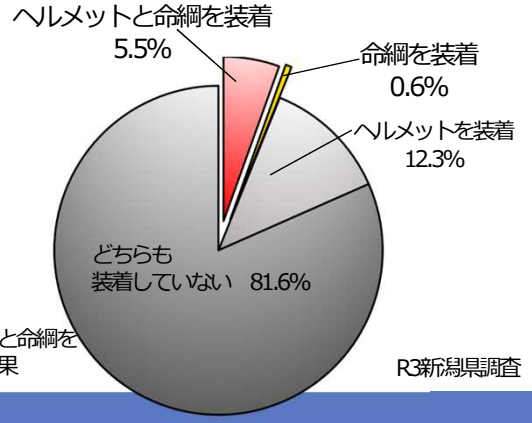
除雪作業中の事故の中でも、「屋根やハシゴからの転落」が426件と最も多く、死亡・重傷事故全体の半数以上を占めています。



事故を防ぐための命綱はほとんど使われていません

屋根雪下ろしは、高所作業であり、転落防止のための命綱の装着は必須です。

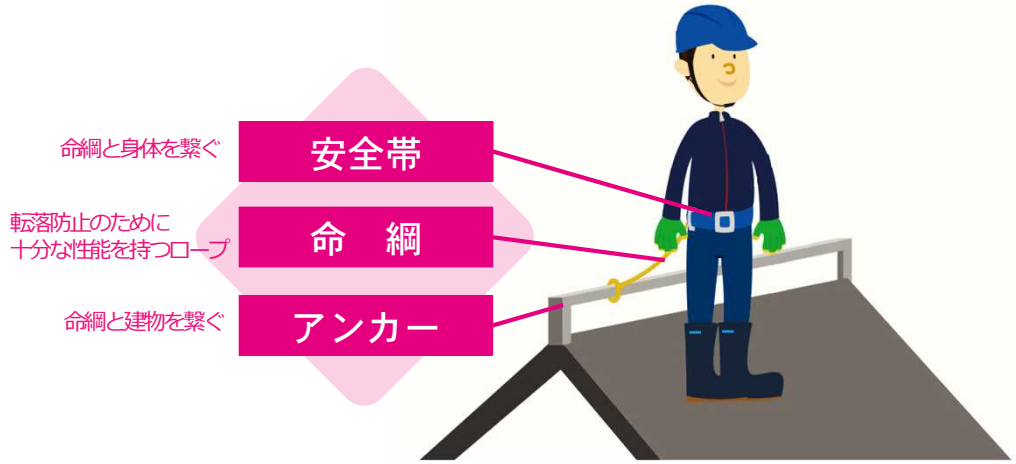
しかし、県内の特別豪雪地帯市町村を対象に、県が令和３年に実施した「県民アンケート調査」では、命綱を着用したと回答した割合は、わずか６.１%でした。



屋根雪下ろしを行うとき、ヘルメットと命綱を装着しているかアンケート調査した結果

命綱を適切に使うためには、正しい知識が必要です

命綱といっても、ただロープがあれば良いわけではありません。
命綱は、安全帯、アンカーとあわせて使用することで効果を発揮します。



身体に命綱を直接結び付けると、万一転落した際に、衝撃で命綱を結んだ部分で骨折したり内臓や神経を傷めたりするおそれがあり危険です。

そのため、安全帯（墜落制止用器具）を身体に装着し、安全帯に命綱を繋ぐことが有効です。安全帯には転落時の衝撃を吸収するショックアブソーバーが付いており、転落時に身体にかかる負担を軽減してくれます。

命綱として使用するロープは、登山用ザイル（直径8㎜以上）など、強度があって滑りにくく結び目がほどけにくいものを選んでください。

ナイロンロープ（いわゆるトラロープ ）は、強度が不十分で滑りやすいため命綱として使うことはできません。

命綱は、屋根から身体がはみ出さない長さ（通常は５ｍ程度）があれば十分です。

命綱が長すぎると、滑った際に制止までの距離が長くなる（加速する）だけでなく、首などに巻き付くおそれがあり危険です。

また、命綱を建物に繋ぐための設備（アンカー）を事前に屋根上に設置することで、雪下ろし作業中の安全を確保することができます。

アンカーについて、次ページから紹介します。

アンカーの設置を検討しましょう

自力で屋根雪下ろしができない要援護世帯などが業者に屋根雪下ろしを依頼することは、雪国では一般的です。要援護世帯に除雪費補助を行う市町村もあります。

Question ?
今まで屋根雪下ろしを業者に頼んでいましたが、アンカーが付いていないと依頼できなくなるのですか？

業者は、命綱と命綱を有効に使用するため必要な安全帯を用意できます。
しかし、アンカーは現地で確保するものであり、本来、業者ではなく依頼主が用意するものです。
命綱を使用して安全な作業を行えないと判断した業者は、屋根雪下ろしの依頼を受けることはありません。

屋根に専用のアンカーがない場合でも、ロープなどを駆使してアンカーを確保できる業者（特殊な技能を有する専門業者）もあります。
例えば、棟を挟んで反対側の立木や車両に固定したロープを仮設のアンカーにしたり、屋根に設置した仮設柱（スタンション）や固定金具（クランプ）にロープを張って仮設のアンカーにしたりします。屋根の雪止めアングルや下の階の柱などをアンカーとして利用する場合もあります。
しかし、特殊な技能を有する専門業者は少なく、仮設のアンカーを確保するためには手間がかかるため、費用が高くなったり、必要な時に屋根雪下ろしを依頼できなかったりすることなども想定されます。
そのため、安全確保が容易な専用のアンカーを屋根にあらかじめ設置することは、依頼主や業者の安心につながります。

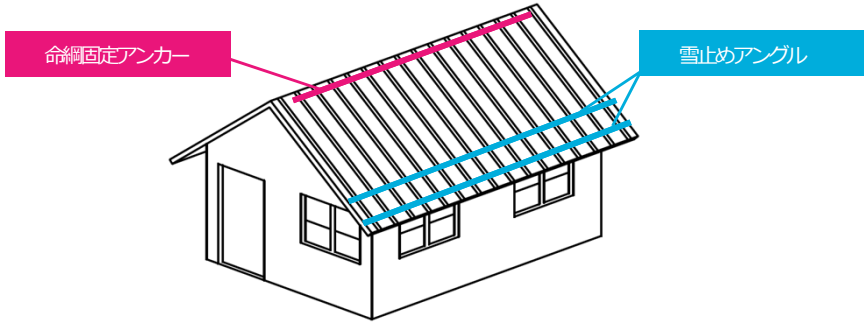
Answer !
アンカーを確保できずに依頼を断る業者が増えています。屋根にアンカーがあれば安心して業者に依頼できます。

Point
- 「アンカーを確保可能か」など現場の状況を雪下ろし依頼先の業者に確認してもらうなど、降雪前に準備しましょう。

残念ながら、毎年、屋根雪下ろし作業中の転落事故が多数発生しています。屋根雪下ろしは危険な作業であり、転落事故対策の一つとしてアンカー設置を推奨します。

Question ?
屋根に設置する専用のアンカーについて、最近よく聞きますが、どのようなものでしょうか？

専用のアンカーは、屋根雪下ろし作業に使いやすいように工夫されています。
屋根の上で命綱を繋ぐ設備（アンカー）として雪止めアングルを利用する方法もありますが、「雪が積もると見つけにくい」、「使いたい場所に設置されていない」、「屋根との隙間が狭くロープを通しにくい」など、使いにくい点があります。



	命綱固定アンカー	雪止めアングル
設置位置	【棟部分】 ・積雪時でも見つけやすい ・屋根全面を動きやすい	【軒先】 ・積雪時に位置がわかりにくい ・転落時に宙づりになるおそれあり
横架材	【単管パイプ】 ・命綱を繋ぎやすい ・横移動しやすい	【アングル】 ・屋根面との隙間が小さく、命綱を繋ぎにくい

雪止めアングルに命綱を繋ぐ方法を改良した「棟部単管型アンカー」（上図、施工例：P10）のほか、仮設柱の間に張ったロープに命綱を繋ぐ方法を改良した「腕金ワイヤー型アンカー」（施工例：P13）など、アンカーには様々な種類があります。

Answer !
専用のアンカーは、屋根雪下ろし作業で使いやすいように工夫されています。

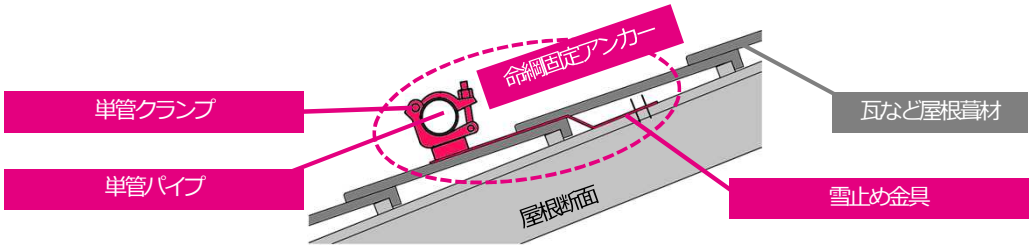
Point
- アンカーのタイプ別に施工例を掲載しています（P10~P14）。
- 裏表紙にも施工例としてアンカーの写真を掲載しています。

アンカーの設置を検討しましょう

住宅にアンカーを設置する場合、命綱を結ぶ横架材（単管パイプなど）を屋根面に固定する必要があります。

Question ?
屋根にアンカーを取り付ける方法を教えてください。

アンカーの横架材として工事現場等で用いる単管パイプ（Φ48.6㎜）を使用する場合、屋根への固定金具として雪止め金具を流用する例が多くあります。



雪止め金具は、瓦などの屋根葺材の下にある野地板に固定するものが多く、設置時に金具を固定する部分の屋根材を葺き替える費用が必要です。

金属屋根（瓦棒葺き、平葺き）の場合、屋根材を葺き替えずに固定可能な雪止め金具が市販されており、設置費用を抑えることができます。

なお、両側の妻面から立ち上げた腕金にワイヤーを張る「腕金ワイヤー型アンカー」（施工例：P13）の場合、屋根材の葺き替えが不要です 。

アンカー設置用金具の販売開始！

アンカー設置用金具は、工務店などが建設資材を加工して自作していましたが、令和３年に三条市の「有限会社　鈴文」から既製のアンカー設置用金具が発売されました。

今後は既製品も増えると期待されます。

Answer !
雪止め金具を流用して設置する場合が多いですが、汎用性の高い専用金具の製品開発も進んでいます。

- 雪止め金具は、水上から押す（水下から引く）力に対して安全です。
- 雪止め金具を利用したアンカーは、棟に設置すると有効です。

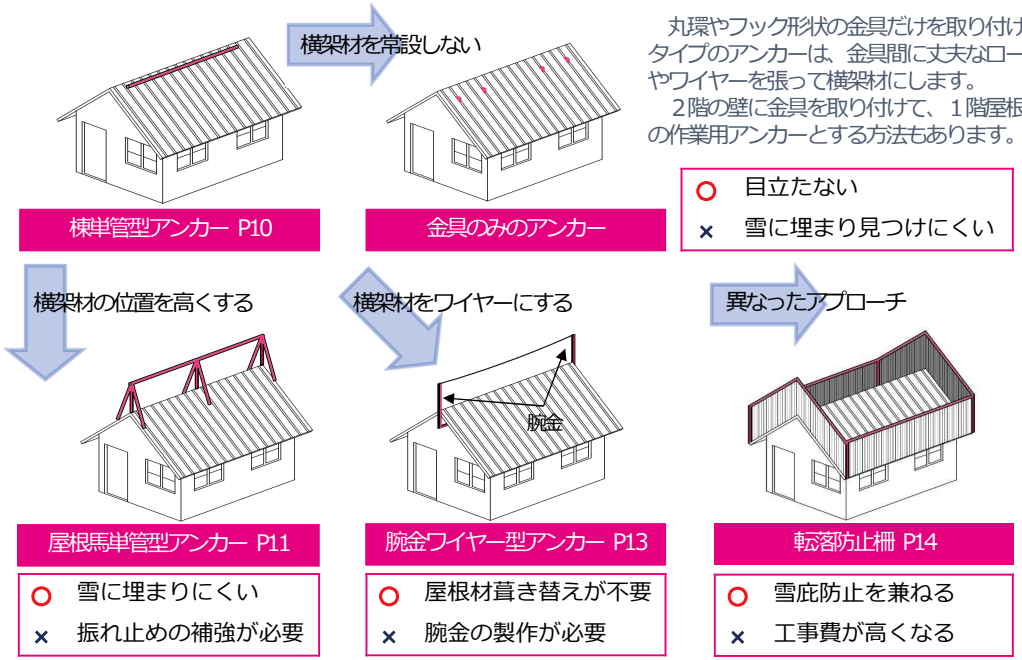
Point

アンカーは、「命綱を結ぶ横架材の種類」、「横架材を建物に固定する位置」、「横架材の高さ」などの選択の組み合わせにより、様々な種類があります。

Question ?
様々な種類のアンカーがありますが、どのように選べばよいでしょうか？

アンカーは各地の工務店などが創意工夫して設置しているため、様々な種類があります。

アンカーの種類は、それぞれのメリットとデメリットを検討して、工務店などと相談しながら決めてください。



丸環やフック形状の金具だけを取り付けるタイプのアンカーは、金具間に丈夫なロープやワイヤーを張って横架材にします。

２階の壁に金具を取り付けて、１階屋根での作業用アンカーとする方法もあります。

○ 目立たない
× 雪に埋まり見つけにくい

命綱を結ぶ横架材の位置を高くすると、屋根雪下ろしの前に掘り出す必要がなくなります。横架材は下をくぐれる位置まで高くすると作業効率も良くなります。ただし、横架材の位置を高くすると、支柱部分に大きな力がかかるため、補強が必要になり工事費が高くなります。また、住宅の外観を損なう、と嫌う人もいます。

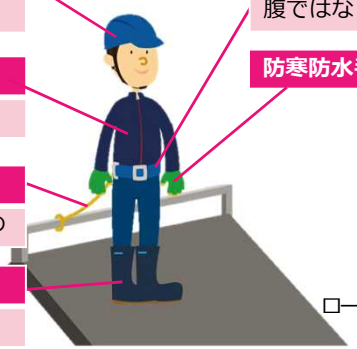
Answer !
設置するアンカーは、工務店などと相談しながら、屋根形状、使い勝手、費用、外観などから総合的に選んでください。

- 降雪前からアンカーの横架材を設置したままにすると便利です。
- ワイヤーは緩むので、使用前に張りを確認してください。

Point

安全な雪下ろしについて考えましょう

屋根雪下ろしのための装備をそろえましょう



ヘルメット
あごひもを締めよう

動きやすい服装
汗の処理も考慮する

命綱
十分な強度があるもの

長靴
滑りにくいもの

安全帯(墜落制止用器具)
腹ではなく腰にかける

防寒防水手袋

まきがけ

ロープの端部に作った輪に取り付けた「カラビナ」にロープを通す方法
命綱をアンカーに繋ぐ方法のひとつ

用　具		主な販売店	購入費用の例
ヘルメット（帽子）	落雪や転倒時に頭部を保護するためヘルメットを着用しましょう。ヘルメットの下に防寒用の帽子をかぶる方法もあります。	ホームセンターなど	4,000円程度
手袋	薄手で防水性に優れたゴム製の手袋が作業に適しています。ゴム手袋の下に防寒用の手袋（軍手など）を重ねる方法もあります。		
防寒具	薄手で防水性に優れたものが作業に適しています。衣類は、薄手のものを重ね着し、着脱により温度調整しましょう。		
長靴	長靴は、防寒性があり靴底の溝が深いものが、滑りにくく作業に適しています。「かんじき」を使用することも有効です。		
安全帯(墜落制止用器具)	安全帯は命綱を体に結ぶために使用します。チェストハーネス（胴ベルト）、フルハーネスなどの種類のほか、「越後雪かき道場®」監修のシットハーネス（P8参照）もあります。		8,000円程度 フルハーネス 20,000円程度
カラビナ	カラビナは命綱を安全帯やアンカーにつなぐために使用します。金属リングの一部が開閉することで、素早く確実に繋げます。	ホームセンター 登山用品店 など	1,000円～2,000円程度
命綱	命綱として使用するロープは、強度があって、滑りにくく、結び目がほどけにくい材質のものを使用しましょう。	登山用品店など	登山用ザイル (φ8㎜/5m) 1,500円程度
ブレーキ(必要に応じて)	ブレーキは登山用品で、命綱の長さ調整に使用し、宙吊りを防ぎます。		4,000円程度

● 屋根雪下ろしは、激しい運動です。体調の悪いときに作業しないことはもちろん、作業前に準備体操などで体を慣らすことや、快適に作業を行うための装備をそろえることで、体にかかる負担を軽減してください。 Point

最低限のロープワークを覚えましょう

身体に装着した「安全帯」と屋根に設置した「アンカー」を結ぶ「命綱」は、屋根雪下ろしの作業中にバランスを崩して転倒した場合でも、身体が屋根の上に留まる長さで使用することが重要です。宙吊り状態からの自力脱出は困難であることから、宙吊りになるリスクを避けてください。

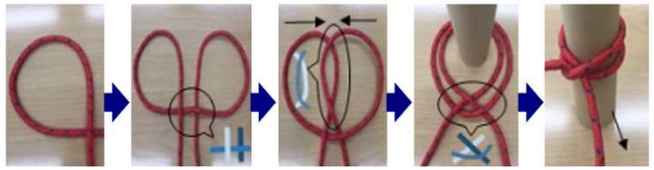
命綱の長さは途中に作った輪を「カラビナ」に掛けて調整したり、命綱の途中に付けた「ブレーキ」に安全帯のフックを掛けて調整したりします。

エイトノット　※ ロープワークの基本です。ぜひ、習得してください。

カラビナにかける輪を作るための基本技です。命綱の長さ調整にも使えます。
強い力がかかっても固結びになってほどけなくなることがありません。

インクノット（巻き結び）

柱などにロープを結びつけるための基本技です。
命綱をアンカーや道具に結び付けるときに使います。結び目が単純なので、ほどけ止めを施すとより安心です。



カラビナ（クライミング用）

一部分が開閉可能な金属リングです。
命綱を安全帯やアンカーに素早く確実に繋ぐことができます。

ブレーキ　（登山用）
※ ロープワークで代用可能

金具の内側にロープに食い込む突起があり、力をかけると止まります。登れるが下がらないつくりになっています。

雪下ろし用の安全帯（シットハーネス）【越後雪かき道場®監修】

除雪作業の安全教育や実践講習を行っている「越後雪かき道場®」の監修による、腰と太ももを固定するタイプの安全帯（シットハーネス）です。
荷重が胴部に集中しない、装着しやすい、安価といった特徴があります。
お近くに販売店がない場合は、下記にお問い合わせください。

NPO法人中越防災フロンティア
電話：0258-59-2308

安全な雪下ろしについて考えましょう

「危険ゾーン」での作業を避けましょう

屋根の端部は、バランスを崩すと転落につながる「危険ゾーン」です。
また、ハシゴからの転落も多数発生しており、ハシゴも「危険ゾーン」です。
「危険ゾーン（下図参照）」での作業は行わないでください。
屋根の向きや周囲の状況によって異なるため一例となりますが、雪下ろしの作業順序をお示しするので、参考にしてください。

（参考）安全な雪下ろしの作業順序

① 可動式ハシゴを使用する場合は、ハシゴの脚を雪に埋めて踏み固め、動かないようにする

② 雪下ろしに使用する道具は手に持たず、道具にロープを結び、もう一方のロープの端はカラビナ等で安全帯に繋ぐ

③ 屋根に上ってからロープで道具を引き上げる

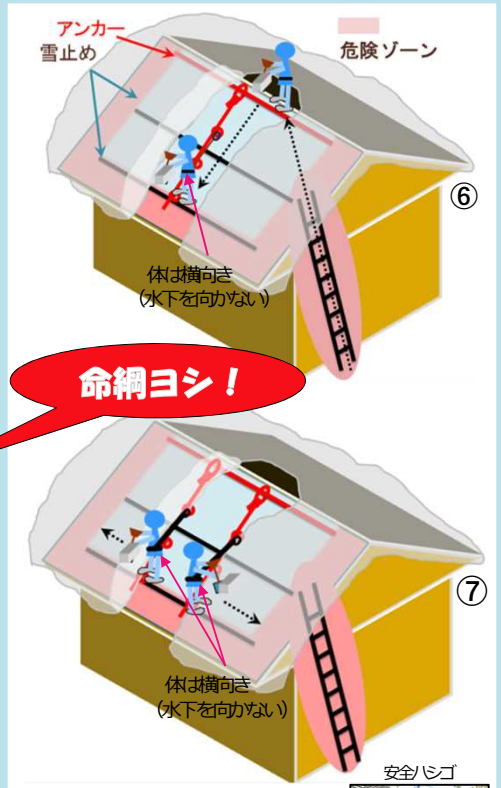
④ 棟の中央部に向かい、（雪に埋まっている場合は掘り出して）アンカーに命綱（ロープ）を結ぶ

⑤ 体が屋根の端からはみ出さないように、命綱の長さを調整する【重要】

⑥ 屋根の中央部を下方に向かって軒先まで掘り進み、軒先の位置を確認

⑦ 道具（ダンプ）を雪に差し入れ、下方に滑らせて雪を落とす
体を横向きにして屋根と平行に掘り進む

⑧ 屋根端部の雪は、安全ゾーンから危険ゾーンに道具を差し出して落とす
（妻側の屋根端部の雪を最後に落とす）



安全ハシゴの補助制度

ハシゴからの転落防止のため、ハシゴを跨いでまっすぐ屋根に乗り移れるように手がかり棒がついた「雪下ろし用安全ハシゴ」が販売されています。魚沼市など安全ハシゴの購入費用に補助を行っている市町村もあります。

- 雪を取りすぎると、屋根葺材を傷めたり、足元が滑りやすくなるため、屋根には15～20cmの雪を残しましょう。
- 「危険ゾーン（屋根の端部）に立たない」、「危険ゾーンの雪は、安全ゾーンから道具を差し出して落とす」ことが安全な雪下ろしの基本です。

Point

命綱固定アンカー施工事例

①棟部単管型

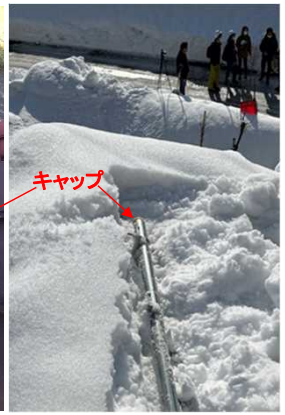
（設置事例データ）
- ■工期　：約１週間
- ■工事費　：約12万円
- ■主な使用材料　：単管パイプ、単管パイプ取付用金物（雪止め金物と単管クランプを加工）
- ■屋根との固定方法：雪止めアングル用の金具を利用して固定
- ■同時利用人数　：2人程度

施工しやすく、目立ちにくい

単管パイプを棟部分に金具で取り付けたアンカー
棟に沿って設置することから目立ちにくく、アンカー設置後の外観にも違和感は少ない
雪止め金具を利用して設置するため、多くの工務店が施工可能
専用金具の開発も進んでいる

平葺き金属屋根に取付

瓦棒葺き金属屋根に取付　無雪期の様子

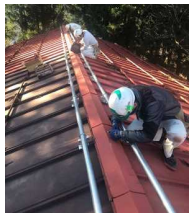


屋根端部を把握するため屋根端から１mの位置で単管を止める
単管端に付けた黄色いキャップが危険ゾーンの目印

アンカーを掘り出す

使用状況

【固定部分】
施工例では、屋根への固定金具に、既製品を使用
金具製作や、屋根材の部分葺き替えが不要になることで、短期間での施工が可能



現地確認　2日 → **材料調達・制作　4日** → **施工　1日**

- ●屋根形状を確認
  位置、設置金具を検討
- ●雪止め金具等を使用して、単管パイプ固定用の金具を製作
- ●写真の住宅では有限会社鈴文の金具を使用したので、製作期間は不要

㈲鈴文
ハーネスアンカー
瓦棒葺屋根用

㈲鈴文
ハーネスアンカー
平葺屋根用

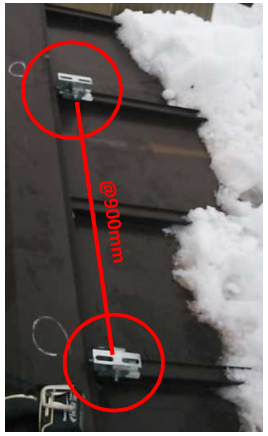
※ 材料には、耐候性の高い溶融亜鉛メッキ処理を実施
※ 記載内容は、あくまで設置事例における情報

②屋根馬単管型

（設置事例データ）
- ■工期　：約１週間
- ■工事費　：約15万円
- ■主な使用材料　：単管、T型ジョイント、雪止め金具（支柱、横桟材の固定に使用）
- ■屋根との固定方法　：瓦棒へ雪止め金具により固定
- ■同時利用人数　：６人程度

材料の入手が容易でメンテナンスが楽

支柱、横架材ともに単管を用いたアンカー
材料は、ホームセンター等で販売されているため、入手が容易
加工が少なく設置までの期間が短い
老朽化した場合も、一部部材の交換が可能であり、メンテナンスが容易

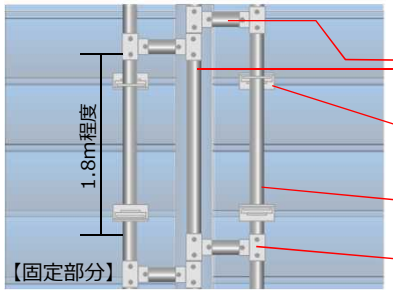


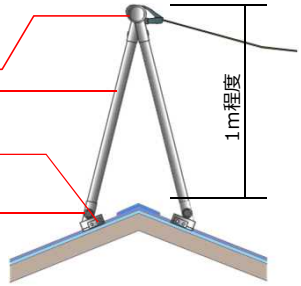
瓦棒用雪止め金具

T型ジョイントφ40mm

使用状況

無雪期の様子





現地確認・計画	材料調達・制作	施工
2日	5日	1日

- ●屋根形状を確認
  位置、設置金具を検討
- ●資材、金具はホームセンターで調達可能
- ●材料の加工等は不要のため、施工までの準備期間が短い

※　記載内容は、あくまで設置事例における情報

③屋根馬ワイヤー型

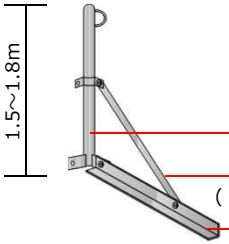
（設置事例データ）
- ■工期　：約１カ月
- ■工事費　：約12万円
- ■主な使用材料　：アングル鋼、平鋼、鋼管（支柱材として利用、要加工）、ワイヤー
- ■屋根との固定方法：瓦棒とアングル鋼を金具により固定
- ■同時利用人数　：2人程度

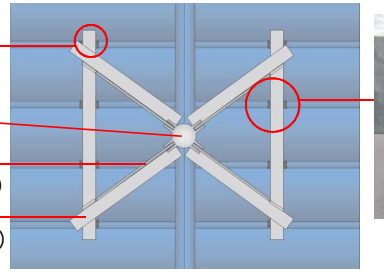
目立ちにくく屋根を痛めにくい

鋼材を組み上げた２本の支柱を屋根の上に設置し、その間にワイヤーを張るアンカー
アンテナと同じ程度の寸法・形状であることから目立ちにくく、設置後の外観にも違和感は少ない
瓦棒に取り付けるため、屋根を傷めにくい

使用状況

無雪期の様子





現地確認	材料調達・制作	施工
2日	20日	1日

- ●屋根形状を確認
  位置、設置金具を検討
- ●支柱は鋼材を加工して作成
- ●溶融亜鉛メッキ等の防錆処理

※　材料には、耐候性の高い溶融亜鉛メッキ処理を実施
※　記載内容は、あくまで設置事例における情報

④腕金ワイヤー型

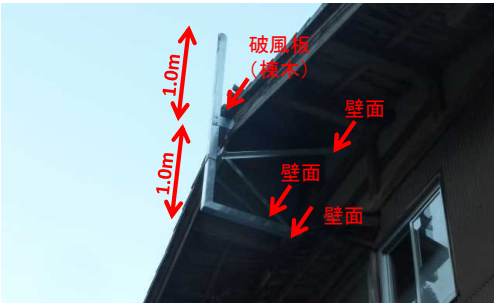
（設置事例データ）
- ■工期　：約１カ月
- ■工事費　：約15万円
- ■主な使用材料　：角パイプ、平鋼（支柱材として利用、要加工）、ワイヤー
- ■屋根との固定方法：妻面の破風板および壁面にコーチスクリュー止め
- ■同時利用人数　：2人程度

瓦屋根に設置可能で移動範囲が広い

屋根の妻側にある破風板や壁面に支柱となる金物（腕金）を固定し、支柱の間にワイヤーを張るアンカー

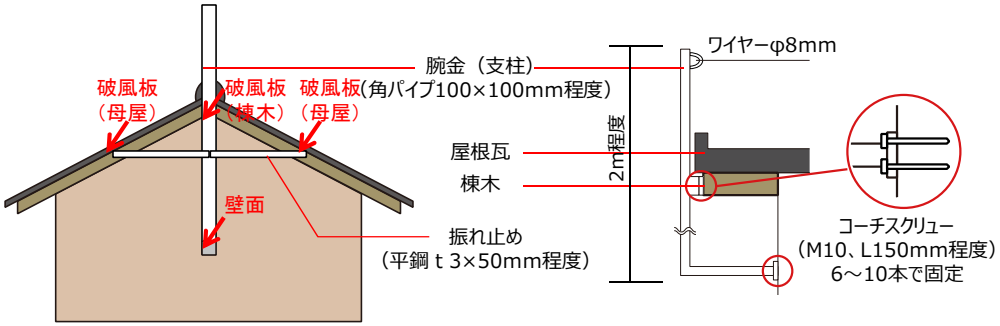
雪止め用金具を使用できない瓦屋根でも、葺き替えの必要がない

命綱を付けたまま移動できる範囲が広い



破風と下屋に固定するタイプ

無雪期の様子



現地確認	材料 調達・制作	施工
2日	20日	1日
●軒の深さや破風・母屋の状況を確認 ●妻面に隣接する建物の確認	●支柱は鋼材を加工して作成 ●溶融亜鉛メッキ等の防錆処理	●設置個所の状況によっては仮設足場が必要

※材料には、耐候性の高い溶融亜鉛メッキ処理を実施

※記載内容は、あくまで設置事例における情報

⑤転落防止柵

（設置事例データ）
- ■工期　：約2カ月
- ■工事費　：約4万円/1間(1.8m)
- ■主な使用材料　：転落防止柵接続金物、単管パイプ、直交クランプ
- ■屋根との固定方法：転落防止柵接続金物を既存雪止めアングルと固定する
- ■同時利用人数　：多人数で作業が可能

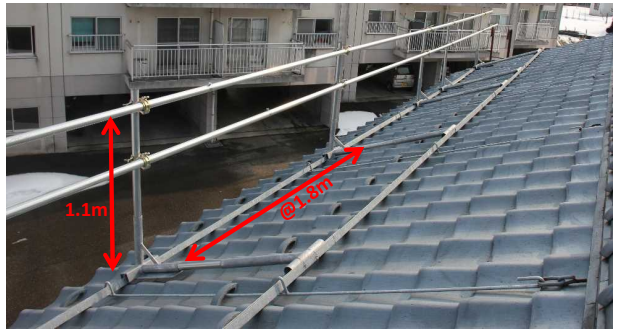
既存の雪止めアングルに容易に固定

既設の雪止めアングルを利用する固定金物を使用した、転落防止柵

接続金物以外は、市販の材料を利用

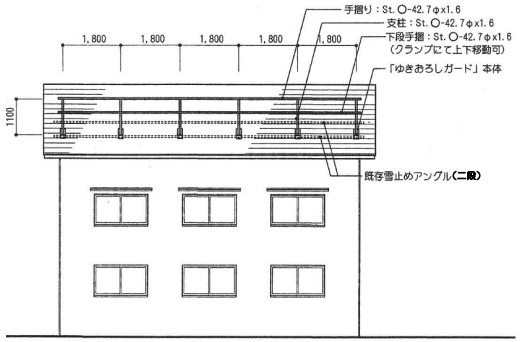
柵形状の工夫で、雪庇防止の機能を持たせることも可能

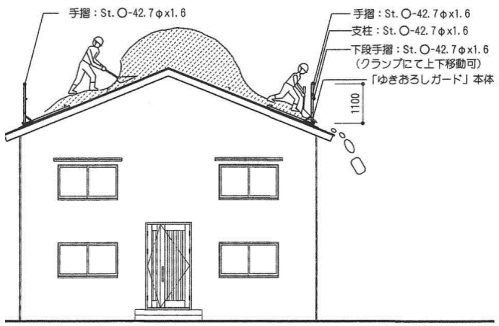
柵形状によって、投雪口設置が必要



雪下ろし時の使用状況

雪止めアングルに固定する





現地確認	材料 調達・制作	施工
1日	60日	1日
●屋根形状、雪止めアングル設置状況の確認	●転落防止柵接続金物の制作 ●溶融亜鉛メッキ等の防錆処理	●材料を屋根に上げれば、屋根上のみで取付作業可能

※　材料には、耐候性の高い溶融亜鉛メッキ処理を実施

※　記載内容は、あくまで設置事例における情報

（参考）アンカーの設置を推奨する理由

Column 1
「新潟県住宅の屋根雪対策条例」

県は、全国で唯一、屋根雪による事故ゼロを目指して「新潟県住宅の屋根雪対策条例」を平成24年10月に制定しています。
条例には屋根雪対策に対する基本理念と、県や県民がそれぞれの役割で取組む３つの施策を定めています。

屋根雪対策の基本理念

- 屋根雪対策は県民及び所有者等が自主的及び主体的に取組み、連携・協力することにより行うことを基本とする。
- 屋根雪下ろしは、危険を伴う作業であり、安全確保の必要性を認識して行うことを基本とする。

取り組む３つの施策

（1） 雪に強い住宅にしよう　～克雪住宅～
屋根雪下ろしを伴う事故を防止するためには、屋根雪下ろしが不要な「克雪住宅」にすることが有効な対策となります。

（2） 屋根の雪下ろし対策は安全対策を万全に！
「一人でしない　無理しない　落雪・転落気をつけて」
屋根雪下ろしは安全対策を怠ると大きな事故につながります。
十分な準備を行い、作業中も安全管理をしっかり行いましょう。

（3） 空き家の屋根雪下ろしも忘れずに
空き家の屋根雪が放置されて、倒壊等により隣家住民などに危害を及ぼす事故が例年発生しています。空き家の所有者や管理者は、屋根雪下ろしなど必要な管理を行って下さい。

克雪住宅の補助制度

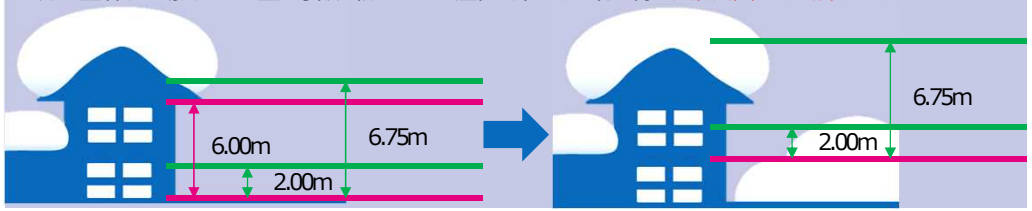
お住まいの市町村での、克雪住宅整備補助の実施状況は、右のQRコードまたは下記のURLからご確認ください。
https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/jutaku/1356838728905.html
また、補助対象、補助金額などの詳細については、各市町村の窓口にお問い合わせください。

Column 2
法律の規制（労働安全衛生法）

労働安全衛生法は、労働者が安全に業務を行えるように雇用主が守るべきことを定めた法律です。
この法律では、墜落のおそれがある作業をする労働者に対して「雇用主は墜落制止用器具（安全帯）を使用させなければならない」と定めています。
そのため、屋根雪下ろしを業者に依頼する場合、業者は適切に安全帯を使用できると判断できなければ作業を請け負うことができません。
自ら所有する建物の屋根雪下ろしを自身で行う場合、業務ではないため、この法律は適用されませんが、危険を伴う作業に変わりはないので、命綱を使用するとともに、墜落の可能性がある屋根の端で作業を行わないことが重要です。

業者は墜落の危険度に応じた適切な安全帯を使用しています（労働安全衛生規則）。
・2.00 m以上の高さから墜落する可能性がある場合は、少なくとも胴ベルト型の安全帯を使用
・6.75 m以上の高さから墜落する可能性がある場合は、フルハーネス型の安全帯を使用

一般的な木造２階建て住宅の軒高は6.0m程度なので、大屋根の雪下ろしは墜落の危険度が高い作業です。
また、屋根からの墜落の約半数はコンクリートなど硬い場所に落ちたため、重大事故になっています。
万一墜落した場合にも、重大事故を防ぐため、屋根雪下ろしを行う際は建物周囲の雪を残しましょう。



Column 3
新築時に屋根雪をどのように処理するか考えましょう

県は、住宅を新築する場合、屋根雪下ろしが不要となる克雪住宅を推奨しています。しかし、屋根雪下ろしの頻度が少ない地域などでは、建設費や運転費が見合わないと考え、克雪住宅の導入を断念する方も多いようです。
自宅の新築に際し、必要に応じて屋根雪下ろしを行うと決める場合は、アンカーを設置することをあわせてご検討ください。
新築時にアンカーを設置することで、安全確保できない状況で屋根雪下ろしを行うことがなくなります。将来的に自力での屋根雪下ろしが困難になった場合や、屋根のメンテナンス作業を依頼する場合も、業者の安全確保を容易にします。
また、新築時であれば、屋根工事に含めて施工できるため、安価にアンカーを設置できます。

アンカー設置の補助制度のご案内

お住まいの住宅の状況によるため、一概には言えませんが、アンカー設置には15～20万円程度の工事費が必要です。屋根形状が複雑な住宅や、大きな住宅では工事費用も大きくなります。

工事費用の大きさが、アンカー設置を躊躇する理由の一つとなっていることから、県では、特別豪雪地帯を有する市町村にアンカー設置に対する補助制度の創設を働きかけるとともに、補助を行う市町村に財政支援を行っています。

なお、令和３年度は、200戸以上が補助を受けてアンカーを設置しました。

特別豪雪地帯を有する市町村のいくつかで、住宅にアンカーを設置する工事費用への補助制度を実施しています。

お住まいの市町村での、アンカー設置補助の実施状況は、右のQRコードまたは下記のURLからご確認ください。

https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/jutaku/1356838728905.html

なお、補助対象、補助金額などの詳細については、各市町村の窓口にお問い合わせください。

（参考）除雪ボランティア「スコップ」

- 除雪ボランティア「スコップ」の登録者を県内外から募集しています。
- 集落単位での希望を受付け、除雪ボランティア派遣を県でコーディネートしています。

県がコーディネートする除雪ボランティア「スコップ」は、高齢者等の除雪困難世帯の除雪作業を行います。

家屋周りの除雪が活動の中心ですが、アンカーが設置された住宅で、安全確保できる場合に限って、屋根雪下ろしを行う※こともあります。

※ 屋根雪下ろしを行うボランティアは、以下の条件を満たす必要があります。
- 「越後雪かき道場®」の中級以上の講習を修了している
- ヘルメットと命綱を装着する

除雪ボランティア「スコップ」ロゴ

県は、安全な屋根雪下ろしの方法について、「越後雪かき道場®」から講師を招き、座学と実践による講習を行っています。

「越後雪かき道場®」の講習を受ける「スコップ」のメンバー

問合せ先：　新潟県 地域政策課（電話025-280-5088）

詳細は、右のQRコードまたは下記URLからご確認ください。

https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/chiikiseisaku/yukivolunteer.html

アンカーを使った人、設置した人の声

最初は邪魔に感じていたが、命綱をつけると**安心する**。
（50代・雪かき歴40年）

アンカーを屋根に設置したので屋根雪下ろしを業者に**安心して頼めます**。
（70代・1人暮らし）

命綱があることで、自然に、棟と平行方向に作業を進めることになるので**安全**。
（40代・雪かき歴20年）

屋根雪下ろしに慣れていない若者が集落に戻ってきたのをきっかけに、集落センターにアンカーをつけたよ。
（某集落・自治会長）

命綱をつけるなんてかっこ悪いなんて言われたが、命には代えられない。
（70代・雪かき歴50年）

集落センターの屋根雪下ろしは、だいたい6人程度で実施しています。
（某集落・自治会長）

雪がたくさん積もってもアンカーを見つけられるように支柱の高さを２ｍにしたよ。
（60代・雪かき歴40年）

アンカー設置補助を行う市町村が増えているよ。
（朱鷺・2005年誕生）

アンカーは悲しい事故を防ぐために開発されたんだ。
（雪男・2019年誕生）

新潟県宣伝課長「トッキッキ」

土木部イスコット「こめゆきくん」